



## リッティの「大連を案内します」 初秋の大連、楽しみがいっぱい

今年の4月に舞鶴市の友好都市、中国・大連市からまいりました国際交流員の孫立娣です。今月から、このコーナーを担当させていただくことになりましたので、市民の皆さんの応援をよろしくお願いいたします。

暦の上では秋とはいえ、舞鶴ではまだまだ厳しい残暑が続いていますが、大連では一足早く秋の気配に包まれています。今回は、私が一番気に入っている9月の大連の魅力を紹介します。

初秋の大連は風もさわやかで、海鮮料理もおいしく、美しい自然景観も楽しめ、観光には一番いい季節です。その中でぜひとも紹介したいイベントが「大連国際ファッション祭り」です。この祭りは1988年から毎年開催されており、ファッションショーなどを通じて、ファッション産業の国際的な振興や人的交流の拡大、観光の促進などを一体的に推進する、大連を代表する一大文化イベントです。

この祭りの大きな魅力は、一般市民や観光客が気軽に参加できることです。色とりどりの花火、心に

響く音楽、多彩な舞踊のほか、数十万人の喝采の中を進むファッション・パレードなど、どのプログラムをとってみてもワクワク感が満載です。



今年は9月8日～11日に開催予定で、日中国交正常化40周年を記念して、「日本ブランド・デザイナー・ファッションショー」、「日中デザイナー学校フォーラム」、「日本ブランド企業と現地業者との商談会」などのプログラムも新たに追加されました。もし機会があればぜひ現地に行き、「大連国際ファッション祭り」の盛り上がりで大連市民の情熱を感じてみてください。

▶詳しくは、みなと振興・国際交流課（☎66・1037）へ。

## 交通安全危険予測トレーニング

**例題** あなたは自動車を運転していて交差点を右折しようとしています。対向車はあなたに道を譲るために合図をして止まりました。さて、あなたにはどんな危険があり、何を注意して運転をすればよいでしょうか。



なかなか右折ができないときに対向車から、道を譲る合図をしてくれると、譲ってくれた相手に気を使い、つい急いで右折をしてしまいがちです。また、片側1車線だと、対向からは車は来ないと思いがちですが、二輪車や自転車が、車の横を走り抜ける場合があることを忘れてはいけません。

このような状況で起こる事故は「サンキュー事故」と呼ばれていますが、合図をしてくれた対向車の運転者は道を譲ってくれただけで、右折時の安全は自分自身で確認しなければなりません。

**右折時の安全確認と、対向車横を走り抜ける二輪車や自転車などにも注意しましょう！**

### 秋の全国交通安全運動

9月21日（金）～30日（日）、秋の全国交通安全運動を実施します。悲惨な交通事故を起こさないよう一人ひとりが交通ルールを守り、安全で快適なまちづくりを推進しましょう。

#### 啓発イベント

【日時】9月23日（日）14時～15時30分

【場所】舞鶴自動車学校

【内容】チャットマンやポリスマろんが登場！

▶詳しくは、市交通対策協議会事務局（市民相談課内、☎66・1006）へ。

## 京大大学院と共同で実施する「はつらつ度」調査にご協力を

介護予防への意識を高め、健康的な生活習慣を身に付けることを目的に、京大大学院医学研究科と共同で、アンケート調査と啓発チラシの配布を実施します。

調査は、65歳以上で要支援・要介護認定を受けていない人を対象に健康・運動・食事などの生活習慣について尋ねるものです。対象者には9月上旬に調査書を送付しますので、ご協力をお願いします。なお、調査結果は来年1月ごろに個別に送付します。啓発チラシはあらかじめ抽出した地域に対して配布します。

▶詳しくは、高齢者支援課（☎66・1012）へ。

## あぐりブランド推奨品を更新

ふるさと舞鶴あぐりブランド推奨制度の推奨品7品の認定を更新しました。同推奨制度は、農家や加工グループがこだわりを持って作った農産物や加工品などを推奨することによって、舞鶴産品のブランド化やPR、地産地消を進めようとするものです。

推奨期間は2年間。推奨品は全部で27品です。キャッチフレーズ「とびっきりやね。これ！舞鶴そだち」の推奨シールが目印。いずれも市内の直売所などで取り扱っています。更新した推奨品は次のとおり。

◇純米吟醸原酒 彌一郎◇純米吟醸 大杉◇舞鶴茶（玉露・煎茶・番茶）◇万願寺とうがらし びくるす◇安寿そば

▶詳しくは、農林課（☎66・1023）へ。



## 市役所の節電対策 18% ↓

東日本大震災の影響により、今夏の電力需給の逼迫が懸念される中、市では7月から節電対策に取り組んでいます。市役所本庁舎では、エアコンの室温を28℃に設定するとともに、照明の間引き点灯やパソコンなどOA機器の省電力設定、夏期「ノー残業ウィーク」などの実施により、7月における使用最大電力の実績は平成22年同月比で18%の削減となり、目標の15%を上回りました。

市では引き続き、庁舎関係の消費電力量の削減、機械設備などの稼働時間の平準化に取り組めます。

なお、本庁舎以外の市施設についても、節電の取り組みを行っています。

▶詳しくは、生活環境課（☎66・1005）へ。

## 豪雨災害義援金にご協力を

京都府南部での8月13日からの豪雨による被災者を支援するため、義援金を募集しています。義援金箱を市役所1階ロビー、西支所、加佐分室、各公民館、大浦・城南会館に設置しています。併せて、社会福祉協議会や中丹広域振興局、中丹東保健所などでも受け付け窓口を開設しています。皆さんの温かいご協力をお願いします。

▶詳しくは、保健福祉企画課（☎66・1011）へ。

## 温かい善意をありがとう

5月・6月に取り組んだ「日本赤十字社活動資金の募集」では、皆さんのご理解とご協力により、822万149円が集まりました。寄せられた活動資金は、国内外の災害救護活動や救援資器材の整備などに活用されます。また、皆さんのご協力で茨城県・栃木県竜巻災害義援金は13,870円が集まりました。義援金は日本赤十字社を通じて被災された方々にお届けします。

▶詳しくは、保健福祉企画課（日本赤十字社舞鶴市地区、☎66・1011）へ。

## 就業構造基本調査にご協力を

10月1日現在で、全国一斉に就業構造基本調査が実施されます。国民の就業状態を把握し、雇用・経済政策などに役立てるため実施するもの。9月上旬から無作為に選ばれた世帯に調査員が伺いますので、ご理解とご協力をお願いします。

▶詳しくは、総務課（☎66・1044）へ。

## 文化振興基本指針策定懇話会

市では、「（仮称）舞鶴市文化振興基本指針」の策定に向け、文化資源の活用方法や文化振興の目指すべき方向性について議論する「舞鶴市文化振興基本指針策定懇話会」を開催しています。

今後、9月3日（月）の第2回懇話会を含め計4回程度の懇話会を開催し、本年度中に基本指針を策定する予定です。なお、懇話会の開催内容は随時、市ホームページに掲載します。

懇話会のメンバーは次のとおり（50音順。敬称略）。◇芦田照美（公募）◇直田春夫（NPO政策研究所理事長）◇立道明美（音楽活動家）◇谷口英子（まちづくりサポートクラブ副代表理事）◇中川幾郎（帝塚山大学院法政策研究科教授）◇福長尚斉（舞鶴観光協会常任理事）◇森真理子（torindo代表理事）◇森下卓男（舞鶴商工会議所青年部副会長）◇山内哲夫（市文化協会会長）◇吉岡博之（市教育委員会社会教育課長）

▶詳しくは、文化振興課（☎66・1019）へ。